

●令和6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の実績値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	地元を中心とした幅広い人との交流が薄い状態である。そのため、継続して参加している児童もいる中で体験もマンネリ化しつつある。	一部の教室に偏っており、指導員からの声掛けにより毎年同じ人が関わっている。	地域の自治会・団体等に市からも広く声掛けをし、年1回でも児童と交流をしてもらう。	学校生活では味わえない体験ができ、活動をととして地域との交流も増える。	地元での講師・ボランティアの参加人数	20	人	25	34	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	実績値は目標値を上回ることができた。しかし、ボランティアの参加人数は年々増加はしているが、一部の教室に偏っているのが現状である。令和7年度は、交流場所を幅広くし、昨年度と異なる体験機会を企画していきたい。